

区分		ステップⅠ 新人・新入職・パート(希望者)	ステップⅡ	チャレンジ
項目		目的 ガイドライン・マニュアル・指導者の助言によって看護実践ができる	目的 根拠に基づいた状況判断をし看護実践ができる	目的 目標管理を明確にして行く(師長面談で目標確認)
看護過程・事例	看護実践能力	当院の看護倫理を理解し、看護計画の立案・実践ができる  看護必要度の評価表が指導のもとに書くことができる	看護計画の立案・実践ができ、展開と評価ができる  記録に関する指導ができる  必要度に基づいた看護実践の記録ができる	ジェネラリスト・認定看護師など目指すものは個人別・1年ごと評価
倫理・接遇	社会的能力	(接)職業人としてふさわしい身だしなみ・言葉使いができる	(接)看護職として、言葉使い、挨拶など接遇マナーを実践できる	
		(倫)看護職の倫理綱領を知ることができる	(倫)倫理綱領の内容を理解することができる 倫理的課題に気付くことができる	
ブリーチングメンバー	管理能力	他のメンバーと協力して仕事することができる	自己の実践目標を持つことができる	
		チーム間のコミュニケーションがとれ支援を受け入れることができる  チームリーダー・メンバーへ報告できる	円滑なコミュニケーションを図ることができる  チームメンバーの役割と責任を果たすことができる	
技術・新人・中途	教育能力	1、日常生活援助のための知識、技術、態度を身につけベッドサイドケアが安全確実にできる。 基本知識、技術を身につけ看護基準に沿って指導を受けながらケアが実践できる。 看護技術チェックリストに挙げられている項目を理解し、看護手順に沿って実践できる。  2、院内研修・看護実践を通して看護の知識を深められる。 研修に参加し、新しい知識を広げるための努力ができる。		
看護研究	研究能力			1 課題を明確にして、研究プロセスに沿って研究できる  2 研究成果を看護に活用できる